

愛媛県立自然公園MAP



佐田岬半島宇和海 県立自然公園



ACCESS (松山により)

01. 神崎～九町エリア 約1時間30分	04. 三瓶～明浜エリア 約1時間20分
02. 名取～二名津エリア 約1時間40分	05. 喜木津～磯崎エリア 約1時間
03. 向灘～真網代エリア 約1時間10分	06. 狩浜～渡江エリア 約1時間10分

CONTACT

愛媛県 県民環境部 自然保護課 自然公園係

〒790-8570 愛媛県松山市一番町4-4-2

TEL: 089-912-2366 FAX: 089-912-2354

知れば知るほど好きになる

県立自然公園ガイド



さ だ み ぎ 佐田岬半島 宇和海 県立自然公園

MINI GUIDE BOOK



2024年1月発行

守ろう!! 自然公園のマナー

美しい自然、大切な自然、かけがえのない
生物多様性を、永く子孫へ伝えよう

登山は自己責任で

山の天気は変わりやすく、悪天候の場合は危険です。登山に適した服装や装備、事前に情報を確認するなど、自分の身は自分で守りましょう。

動植物などをとらない

地域や種によっては、法律、条例で採取等の行為が禁止されています。動植物は自然の生態系の一部なので、採取等は厳に慎みましょう。

動植物は持ち込まない

地域固有の種や環境を守ることが、生物多様性の保全には大切です。動物や植物を外から持ち込んだり、捨てたりすることはやめましょう。

ごみは必ず持ち帰る

空き缶、ペットボトル、ビニール袋などのごみを捨てると自然環境を損ねます。野生生物にも悪影響を与えるので、ごみはすべて持ち帰りましょう。

トイレは事前にすまやる

自然公園等には、十分なトイレ設備がない場所もあります。前もってトイレの位置を確認して、事前にすませておきましょう。

登山道・遊歩道を歩く

道はずれて歩くと、迷ったり、気づかないうちに植物を踏み荒らししたりする恐れがあります。登山道や遊歩道を歩くようにしましょう。



MY行動宣言

自然環境の保全には、
生物多様性を守る必要があります。

自然は、動物、植物、微生物などいろいろな生きものの様々な「個性」と「つながり」によって成り立っています。こうした姿を「生物多様性」と言います。しかし、人の活動による影響が主な要因で、絶滅する動植物があり、「生物多様性」は危機的な状態にあります。**5つの行動からなる「MY行動宣言」**は生物多様性を守るために定めた私たちにできる第一歩です。

たべよう

地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。

ふれよう

自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。

つたえよう

自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。

まもろう

生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。

えらぼう

エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。

佐田岬半島宇和海 県立自然公園

リアス海岸を持つ宇和海と
穏やかな瀬戸内海が育む豊かな自然

佐田岬半島宇和海県立自然公園は、日本一細長い佐田岬半島を境に南北に広がる、宇和海北部一帯の島嶼および沿岸部の一部を含む愛媛県西南部の地域です。リアス海岸の入り組んだ地形によって隔てられ、陸上の往来が困難なそれぞれの集落には、独自の民俗行事や祭りが育まれ、現在にまで受け継がれています。佐田岬メロディーラインの愛称で知られる尾根道や、海岸沿いの国道から眺める海の景色は見事です。

※山岳地帯につき道が狭く険しい箇所があります。お車の運転には十分ご注意ください。

MAPの
見方

..... 遊歩道or登山道 S 売店、R レストラン
—— 林道・車道 P 駐車場、WC トイレ

神崎～九町エリア

銅製錬所の遺構や女子鼻灯台
瀬戸内海側は人気の釣りスポット

佐田岬半島はかつて数十ヶ所の銅山が集中し、女子岬製錬所跡には石積み遺構やカラミなどが残されています。瀬戸内海側は典型的なリアス地形で、釣り人に人気のエリアでもあります。

ビュー
ポイント

ポイント 1 番匠鼻②



ポイント 1 番匠鼻①



ポイント 2 権現山展望台②



ポイント 2 権現山展望台①

ビュー
ポイント

ポイント 3 女子岬製錬所跡



ポイント 3 女子鼻灯台

豆知識



佐田岬半島ミュージアム

佐田岬半島の昔ながらのさまざまな民俗・歴史・考古・美術などについて、「見る・触れる・学ぶ」を体験できる博物館。屋上展望台からは宇和海と瀬戸内海の絶景を一望できます。

名取～二名津エリア

国登録有形文化財の旧三崎精錬所跡
天空の石垣とも呼ばれる名取地区



佐田岬半島全体を一望する伽藍山や、貴重な植物が自生する阿弥陀池といった自然の景勝地の中に、名取の石垣集落や釈迦の洞など、特色のある景観や文化を感じられるエリアです。

ビュー
ポイントビュー
ポイント

ポイント 1 伽藍山展望台



ポイント 2 釈迦の洞



ポイント 3 ムーンビーチ井野浦



ポイント 5 旧三崎精錬所跡



ポイント 7 名取地区の石垣



ポイント 4 阿弥陀池



ポイント 6 名取漁港



奥深い湾によって形成された複雑な地形と、変化に飛んだ多様な景観が魅力のエリア。

豆知識



真穴みかん

みかん栽培に必要な自然条件に恵まれた八幡浜市真穴地区で生産される「真穴みかん」は愛媛県のトップブランドのひとつ。皮が薄くて甘みが非常に強く、とろけるような食感が特長です。

ビュー
ポイントポイント
1 自然休養林 諏訪崎ポイント
2 ねずみ島ポイント
3 舌間厳島神社ポイント
4 海の鳥居

豆知識



真穴の座敷雛

盆栽や小道具で飾り付けた箱庭のような庭園に雛飾りを施し、鉢盛料理が供えられる真穴地区の伝統行事。長女の初節句を祝うための行事で、八幡浜市無形民族文化財に指定されています。



西予ジオパーク北部宇和海エリアに属する須崎海岸は大地のエネルギーをリアルに感じるパワースポット。定期船で大島に渡ると、のんびりした時間の流れを感じることができます。

ビュー ポイント



ポイント
2 大島山王神社



ポイント
3 エンジェルロード



ポイント
4 龍王神社



ポイント
5 巴理島



ポイント
6 須崎観音



ポイント
7 大崎鼻公園



ポイント
8 大崎鼻灯台

ビュー ポイント



ポイント
1 大島テラス



釣りポイントの喜木津漁港 小石のビーチが続く夢永海水浴場

瀬戸内海に面する喜木津漁港は、足場の良い堤防にテトラや磯が隣接した絶好の釣りポイント。一年を通してさまざまな魚種を狙えます。小石の浜が続く夢永海岸は、海水浴場の穴場です。



ポイント
1 喜木津漁港



ポイント
2 夢永海水浴場

豆知識



磯崎～喜木津の河津桜並木

2月中旬から3月上旬にかけて、八幡浜市保内町磯崎から喜木津の国道に一齐に咲き誇る約400本のカワツザクラ。空と海の青に濃いピンクの花が映え、他に先駆けて春爛漫を迎えます。



ポイント
1 春日神社

ポイント
2 狩浜の段畑

限られた土地を開墾してきた 先人の努力が 偲ばれる狩浜の段畑

天まで届くかのような狩浜の段畑は圧巻の風景。白い石灰岩の石垣と青い空とのコントラストが美しく、重要文化的景観「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」にも選定されています。

豆知識



県指定無形民俗文化財の俵津文楽

西予市明浜町俵津地区に伝わる俵津文楽は、嘉永5年(1852年)に伊井庄吾が大坂から購入した数体の人形で人形浄瑠璃を始めたのが起源。毎年4月には定期公演(桜祭り)が行われます。

狩浜地区の白い石垣



江戸時代後期から石灰岩の採掘が行われていた西予市狩浜地区の段畑は、地区内の石切場から切り出した石灰石を使った、珍しい白い石垣の段畑風景が広がることでも知られています。

佐田岬半島宇和海県立自然公

園周辺で見られる生き物・野草

植物



花期:4~5月

シオイミカリソウ

ヒメイカリソウの海岸タイプで、葉は厚く、常緑性で冬も葉を残す



花期:4月上旬~中旬

チョウジガマズミ

南予の海岸の岩場に生育する低木で、樹高は3mほどになる



花期:7~9月

ハマカンゾウ

西日本の海岸に生育する。朱色の花が岩場に映えて美しい



花期:9~11月

アゼトウナ

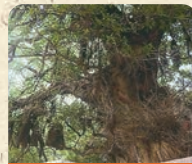
西日本の太平洋沿岸の岩場にへばりつくように生えるキク科の多年草



花期:10~11月

ノジギク

日本固有種で西日本の海岸近くに生育する。代表的な野生菊



花期:5~6月

アコウ

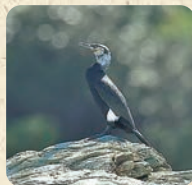
幹を伝うヒゲのような気根や、露出した根が入り乱れる姿が特徴的

鳥



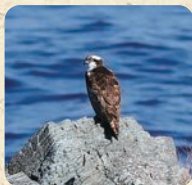
クロサギ

海岸の岩場に生息し、岩場を歩いて魚や甲殻類を捕らえて食べる



ウミウ

全体的に黒っぽい水鳥で、海岸に生息し、海に潜って魚を捕食する



ミサゴ

魚を獲る鷹として昔から知られ、別名ウオタカとも呼ばれている



ハチクマ

名前のとおり蜂を好む鷹。秋の渡りの時期に半島の上を多数通過する



サシバ

ハチクマと同様、秋の渡りの時期に半島の上を多数通過する鷹



ハヤブサ

翼先端がとがり、顔に頬ひげ状の斑がある。小鳥などを狩って食べる

写真提供/日本野鳥の会愛媛 瀧野隆志、松田久司

魚



メバル

沿岸の岩礁に生息し、大きな目が特徴。春告げ魚とも呼ばれる



ホゴ

正式名称はカサゴ。沿岸の岩礁や海中林などに生息している



ハマチ

成長過程にあるブリの呼称。南予地方で養殖が盛んに行われている



イサキ

昼は深みに潜み、夜はエサを求めて水面近くに浮かんでくる



タチウオ

3枚に下ろした身を竹に巻いて焼いた太刀巻きは南予地方の名物



チヌ

正式名称はクロダイ。引きが強いことなどから釣り人に人気の魚